

## 事例1・類似 内服薬、外用剤で薬名（商品名）が類似していることによって起こったインシデント、アクシデント事例

| 関係者     | 内容  | 事例の結果                                 | 最悪のシナリオ                                   |
|---------|---|---------------------------------------|---|
| 複合      | セロクラール<酒石酸イフェンプロジル>の処方せんが判読困難。薬剤師からの問合せに看護師を介してセロクエル<フマル酸クエチアピン>と誤回答。 | 3日間誤投与。転帰は不明。                         | 誤投与を受けた患者が糖尿病だったため、ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡を発生し死亡。 |
| 薬剤師     | トプシム<フルオシノニド>スプレーLの処方に対し、トプシムローションを誤調剤して患者に交付。                        | 患者が使用前に気づき交換。                         | 患者の医療不信が増大。                               |
| 看護師・准看  | 経口用バンコマイシンを投与すべきところを誤って注射用バンコマイシンを経口投与。                               | 念のため胃洗浄を行った。                          | 不要な胃洗浄等の処置に患者が強度の医療不信に。                   |
| 薬剤師     | オキシコンチン錠<塩酸オキシドン>を調剤すべきところを誤ってMSコンチン<硫酸モルヒネ>を調剤。                      | 不明。                                   | 疼痛コントロールが不良に。                             |
| 薬剤師     | アルギメート<グルタミン酸アルギニン>を調剤すべきところ、誤ってアギフトールS200mg<グルタチオン>を調剤。              | 病棟で看護師により誤りが発見され事なきを得た。               | アナフィラキシーショックにより死亡                         |
| 薬剤師     | 持参薬を主治医に伝達する際にアルマール錠<塩酸アロチノロール>と誤ってアマリール錠<グリメピリド>と伝達。                 | 主治医が気づき正しく処方し、事なきを得た。                 | 低血糖により患者は死亡。                              |
| 薬剤師     | アルサルミン細粒<スクラルファート>と誤ってアルサルミン液<同>を調剤。                                  | 病棟の看護師により誤りが発見された。                    | 患者が医療不信からノンコンプライアンスに至り消化性潰瘍が増悪。           |
| 医師・歯科医師 | 他院の紹介状にアロテック<硫酸オルシプレナリン>とありそのまま処方したが、紹介状に誤りがあり正しくはアテレック錠<シルニジピン>であった。 | 不明。                                   | 心悸亢進、不整脈、高血圧症を発生し緊急入院。                    |
| 薬剤師     | セルベックスカプセル<テプレノン>の処方に対してセフゾン<セフジニル>を調剤。                               | 転帰不明。                                 | 重度の下痢を生じ脱水症状に。                            |
| 医師・歯科医師 | フェルム・カプセル<フマル酸第一鉄>を処方すべきところ誤ってファロム錠<ファロベナム>を処方。                       | 1週間にわたり誤服薬。                           | 貧血が回復せず入院期間、手術が延長。                        |
| 医師・歯科医師 | ボルタレンゲル<ジクロフェナクナトリウム>を処方すべきところを誤ってボルタレンサポ25mg<同>を処方。                  | 不明。                                   | 患者が不安に思い、使用を中止。疼痛が悪化し再度入院することに。           |
| 看護師・准看  | ミドリンM<トロピカミド>の指示に対しミドリンP<トロピカミド・塩酸フェニレフリン>を点眼。                        | 不明。                                   | 診断に支障が生じたため、入院期間が延長。                      |
| 薬剤師     | ムコダイン<カルボシステイン>の処方に対して誤ってムコスタ<レバミピド>を調剤。                              | 不明。                                   | 排膿が進まず副鼻腔炎が遷延。                            |
| 医師・歯科医師 | 感冒の患者にメイアクト<セフジトレンピボキシル>を処方すべきところ誤ってメイラックス錠<ロフラゼパ酸エチル>を処方。            | 薬剤師が気づき薬局に連絡。帰宅後だったので当直医が再診しメイアクトを投与。 | 自動車を運転し居眠り運転を起こし重症に。                      |
| 薬剤師     | パロチン<唾液腺ホルモン>を調剤すべきところ誤ってメパロチン<プラバスタチンナトリウム>を調剤。                      | 監査で発見され事なきを得た。                        | 横紋筋融解症を発生し入院。                             |
| 薬剤師     | リポバス<シンバスタチン>を調剤すべきところをリピートル<アトルバスタチンカルシウム>を調剤。                       | 不明。                                   | 患者が不安に思い服薬を中止し、コレステロール値が急激に上昇。            |
| 薬剤師     | ワーファリン<ワルファリンカリウム>を調剤すべきところ、ワソラン<塩酸ベラパミル>を調剤。                         | 患者は2回服用後胸がドキドキするとのこと自己判断で服薬中止。        | 徐脈、心停止に至り死亡。                              |
| 医師・歯科医師 | グリミクロン<グリクラジド>と誤ってグリチロン<グリチルリチン>を処方。                                  | 薬剤師の疑義照会により誤りが発覚。                     | 血糖コントロールが悪化し、眼症状が進行。                      |

## 【出典】

東京都医療安全管理体制支援事業緊急事例報告 (<http://www.tmsia.org/>),

日本医療機能評価機構ヒヤリハット事例情報データベース (<http://www2.hiyari-hatto.jp/hiyarihatto/index.jsp>),

医薬品医療機器総合機構事例集 (<http://www.info.pmda.go.jp/info/idx-iryouanzen.html>),

貴田岡正史監修：ヒヤリハット事例に学ぶ糖尿病看護のリスクマネジメント，NPO 法人西東京臨床糖尿病研究会編，医学書院，東京，2004

**表1 a 代表的な先発医薬品間の薬名（商品名）類似医薬品リスト  
【異成分】**

| 商品名（薬効）<br>＜一般名＞                          | 商品名（薬効）<br>＜一般名＞                                 |
|---|--|
| スピロペント（喘息治療薬）<br>＜塩酸クレンプテロール＞             | スピロピタン（抗精神病薬）<br>＜スピベロン＞                         |
| ノイロピタン（複合ビタミンB 剤）<br>＜ビタミンB 群＞            | ノイロトロピン（鎮痛・鎮静・抗アレルギー薬）<br>＜ワクシニアウイルス摂取家兔炎症皮膚抽出液＞ |
| グリミクロン（糖尿病治療薬）<br>＜グリクラジド＞                | グリチロン（肝疾患治療薬）<br>＜グリチルリチン＞                       |
| クレメジン（慢性腎不全用吸着剤）<br>＜球形活性炭＞               | クレスチン（抗がん薬）<br>＜かわらたけ多糖体＞                        |
| ブレドニン（副腎皮質ホルモン製剤）<br>＜ブレドニゾン＞             | プレマリン（エストロゲン製剤）<br>＜結合型エストロゲン＞                   |
| テグレートール（抗てんかん薬）<br>＜カルバマゼピン＞              | テオドール（喘息治療薬）<br>＜テオフィリン＞                         |
| ザンタック（胃酸分泌抑制薬）<br>＜塩酸ラニチジン＞               | ザイロリック（尿酸合成阻害薬）<br>＜アロプリノール＞                     |
| プロスタール（前立腺がん治療薬）<br>＜酢酸クロルマジノン＞           | プレタール（抗凝固薬）<br>＜シロスタゾール＞                         |
| プロピタン（抗精神病薬）<br>＜塩酸フロロピパミド＞               | フラビタン（ビタミンB 剤）<br>＜フラビンアデニンジヌクレオチド＞              |
| メチコバール（ビタミンB <sub>12</sub> 剤）<br>＜メコバラミン＞ | メルカゾール（抗甲状腺薬）<br>＜チアマゾール＞                        |
| トレドミン（抗うつ薬）<br>＜塩酸ミルナシبران＞               | レンドルミン（ベンゾジアゼピン系薬剤）<br>＜プロチゾラム＞                  |
| アレロック（抗アレルギー剤）<br>＜塩酸オロパタジン＞              | アレリックス（利尿剤）<br>＜ピレタニド＞                           |

**表1 b 代表的な先発医薬品と後発医薬品間の薬名（商品名）類似医薬品リスト  
【異成分】**

| 先発品商品名（薬効）<br>＜一般名＞                  | 後発品商品名（薬効）<br>＜一般名＞                    |
|--------------------------------------|--|
| アベロックス（ニューキノロン系抗菌薬）<br>＜塩酸モキシフロキサシン＞ | アシロベック（抗ウイルス薬）<br>＜アシクロビル＞             |
| カプトリル（ACE阻害薬）<br>＜カプトプリル＞            | チーカプト（胃酸分泌抑制薬）<br>＜シメチジン＞              |
| フォリアミン（ビタミン製剤）<br>＜葉酸製剤＞             | フォリロミン（鉄剤）<br>＜クエン酸第一鉄Na＞              |
| フォリアミン（ビタミン製剤）<br>＜葉酸製剤＞             | フォリクロン（胃腸機能調整薬）<br>＜塩酸メトクロプラミド＞        |
| フォリアミン（ビタミン製剤）<br>＜葉酸製剤＞             | フォリメジン（胃腸機能調整薬）<br>＜ドンペリドン＞            |
| フォリアミン（ビタミン製剤）<br>＜葉酸製剤＞             | フォリロント（ループ利尿薬）<br>＜フロセミド＞              |
| ウルソ（胆汁酸利胆薬）<br>＜ウルソデオキシコール酸＞         | ウルソニン（カリウム保持性利尿薬）<br>＜スピロラクトン＞         |
| マイスタン（抗てんかん薬）<br>＜クロバザム＞             | マイバスタン（高脂血症治療薬）<br>＜プラバスタチンNa＞         |
| フェロミア（鉄剤）<br>＜クエン酸第一鉄ナトリウム＞          | フェロミック（止瀉・殺菌薬）<br>＜塩化ベルベリン・ゲンノショウコエキス＞ |

| 〔同成分〕     |          |                                 |
|-----------|----------|---------------------------------|
| 先発品商品名    | 後発品商品名   | <一般名><br>(薬効)                   |
| ベザトール SR  | ベザテート SR | ベザフィブラート<br>(高脂血症治療薬)           |
| パナルジン     | ピクロナジン   | 塩酸チクロピジン<br>(抗血小板薬)             |
| メバロチン     | メバン      | プラバスタチンナトリウム<br>(高脂血症治療薬)       |
| ロキソニン     | ロキソマリン   | ロキソプロフェンナトリウム<br>(非ステロイド性消炎鎮痛薬) |
| サアミオン     | サワチオン    | ニセルゴリン<br>(脳循環・代謝改善薬)           |
| ユベラニコチネート | ニチEネート   | ニコチン酸トコフェロール<br>(末梢循環改善薬)       |
| レニベース     | レニベーズ    | マレイン酸エナラプリル<br>(ACE阻害薬)         |
| アスパラ CA   | アストス CA  | L-アスパラギン酸カルシウム<br>(カルシウム製剤)     |
| シプロキサソ    | シブキサソ    | 塩酸シプロフロキサシン<br>(ニューキノロン系抗菌薬)    |

**表 1 c** 代表的な後発医薬品間の薬名 (商品名) 類似医薬品リスト  
〔異成分〕 \* 同じ後発品メーカー

| 商品名 (薬効)<br><一般名>              | 商品名 (薬効)<br><一般名>               |
|--------------------------------|---------------------------------|
| エピナスチン (抗ヒスタミン薬)<br><塩酸エピナスチン> | エピレナート (抗てんかん薬)<br><バルプロ酸ナトリウム> |
| トーフミン* (β遮断薬)<br><アテノロール>      | トーフラート* (Ca拮抗薬)<br><ニフェジピン>     |

| 〔同成分〕 |        |                             |
|-------|--------|-----------------------------|
| 商品名   | 商品名    | <一般名><br>(薬効)               |
| マニジップ | マニジロット | <塩酸マニジピン><br>(Ca拮抗薬)        |
| ブラバチン | ブラバロン  | <プラバスタチンナトリウム><br>(高脂血症治療薬) |

**表 1 d** 代表的な一般名類似医薬品リスト

| 一般名 (商品名)<br>(薬効)                  | 一般名 (商品名)<br>(薬効)           |
|------------------------------------|-----------------------------|
| ニザチジン (アシノン)<br>(胃酸分泌抑制薬)          | チザニジン (テルネリン)<br>(筋弛緩薬)     |
| アルプラゾラム (コンスタン)<br>(ベンゾジアゼピン系抗不安薬) | アルプレノロール (アテネノール)<br>(β遮断薬) |
| エノキサシン (フルマーク)<br>(ニューキノロン系抗菌薬)    | エノシタピン (サンラビン)<br>(抗がん剤)    |

表1 e 代表的な商品名と一般名類似医薬品リスト

| 商品名 (薬効)<br><一般名>                  | 一般名 (薬効)               |
|------------------------------------|------------------------|
| アロチーム (尿酸合成阻害薬)<br><アロプリノール>       | アロチノロール ( $\beta$ 遮断薬) |
| カルバン ( $\beta$ 遮断薬)<br><塩酸ベバントロール> | カルバマゼピン (抗てんかん薬)       |
| スルピリン (非ステロイド性消炎鎮痛薬)<br><スルピリン>    | スルピリド (胃腸機能調整/抗精神病薬)   |
| メトリジン (昇圧薬)<br><塩酸ミドドリン>           | セチリジン (抗ヒスタミン薬)        |